



# 消費税増税、所得税の復興増税、法人税・・・減税！！

安住財務大臣がG20で  
消費税増税を宣言

十月十五日、パリのG20の財務相・中央銀行総裁会議で、安住財務相は「来年消費税を十％に上げる」と宣言。五％増税の宣言だ。

所得の少ない庶民は、収入の殆ど全てが消費に回るので、これは収入が五％減ったのと同じ。しかし、金持ちの支出の大部分は、不動産投資や株投資で、消費税がかからない。金持ち優遇だ。

復興増税は二七看板

更に「法人税を五％引き下げ」震災復興の為に「十年間所得税額の四％を付加税として増税。法人税は三年だけ三％増税」と民主党は云う。法人税実効税率は三年間二％減税。その後は五％減税。

これでは法人税の減税に所得税増税分が食われてしまう。

法人税減税は配当に  
回る

企業にかかる法人税は、売り上げから、原材料費、人件費などの経費を差し引いた残りの利益にかかる。その法人税を減らすと、税引き後の利益がそれだけ増え配当に回る。つまり、法人税を減らすと、株主への配当が増える。課税所得五百万の労働者の所得税は約11・45％。ところが、配当への課税は何十億あるうと十％だけ。（一つの会社の五％以上の株を保有する場合を除く）これでは金持ちの財産を増やすだけ。震災復興どころではありません？  
皆さんはどう思われますか？

## 小田急線・田園都市線 中央林間駅前



整然とした街並みから、最近開発された所かと思っていたら、中央林間には八十年以上の、長い歴史があった。一九二九年（昭和四年）に小田急江ノ島線が開通。「中央林間都市」という計画が作られ、それに基づいて街が作られたそう。

ただ、その頃は、小田急沿線の世田谷でも農地が広がり、成城などで宅地開発が進むと、こちらの開発は余り進まなかったようだ。当初は「中央林間都市」という駅名であったが、計画が頓挫した一九四一年（昭和十六年）に「都市」が外され「中央林間駅」となったという。

しかし、現在の街並みを見ると、その計画は大変な先見の明があったという気がする。